



Title	昭和四十八年度行事報告
Citation	基督教学, 9, 31-32
Issue Date	1974-06-10
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/46299
Type	other
File Information	9_31-32.pdf



自体に於いて觀察するのではなしに、時代的制約の中に於ける相対的なものとして、それを取り巻く時代状況から觀察していることである。それによってこの論文は、一貫してバルト擁護の立場に立つものでありながら、既成の理解を踏襲する従来のバルト研究に対して、一つの新たな可能性を開拓し、バルト研究の更に豊かな種々多様な在り方の存在することを例示したと言えるのではないだろうか。

(宇都宮輝夫)

昭和四十八年度行事報告

○第十二回大会 七月十六日 於・酪農学園大学

理事会

総会

昭和四十七年度行事、会計、会計監査報告を承認
決議事項

一、公開講演会は十一月初旬に室蘭地区にて行なう。

二、次期大会は七月十五日(月)、藤女子大学において行なう。

三、『基督教』第九号の編集委員として次の各氏を選出。

浅井正三、宇野光雄、大山綱夫、近野 亘、菅沼英二、

滝沢武人、土屋 博、山崎保興

研究発表会

一、ハアダムの黙示録Vについて 北海道大学 滝沢武人

二、エレミヤ書における荒野 モチーフの伝承史研究 酪農学園大学 菅沼英二

三、ガイヴエスの「救済論」 カトリック司祭 荒木関巧

四、学生・生徒の宗教性の 成長に対する実証的研究 日本キリスト教 中村陽三

五、「理解」ということ 北星学園大学 雨貝行麿

○公開講演会 十一月十日 於・室蘭カトリック女子高校

「現代人の祈り」 札幌カトリック・センター 浅井正三

「聖書の人間観」 北星学園大学学長 秋田 稔

○会員の業績調査実施 二月十五日

新入会員

〔正会員〕

坂井昭宏 北海道大学大学院博士課程

山下勝 酪農学園大学

山畑勝美 酪農学園大学

〔賛助会員〕

北星学園大学

酪農学園大学

執筆者紹介

大山綱夫 北星学園女子短期大学助教授

滝沢武人 北海道大学助手

中村陽三 日本キリスト教教育研究所員

宇都宮輝夫 北海道大学大学院

基督教学 第九号 会員頒布

昭和四十九年六月一日 印刷
昭和四十九年六月十日 発行

編集代表者 秋田稔

発行者 日本基督教学会北海道支部

北海道基督教学会

札幌市北区北九条西七丁目

北海道大学文学部宗教学研究室内

(電話・札幌七一一二一一内線四〇五六)
(振替・小樽一三五九)

印刷所 文栄堂印刷所

札幌市中央区北三条東七丁目